

北九州憲法ネットニュース

発行 9条の会・北九州憲法ネット 2018年4月19日 第101号
 TEL592-5000 fax 571-4346
 803-0817 北九州市小倉北区田町13番21号田町ビル3F
 URL⇒<http://kitaq-kenpou.net/>

第9条

戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認

日本国民は正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

「アベ政治は許さない！」安倍政権は即退陣せよ

9条の会・北九州憲法ネット代表世話人座長 荒牧 啓一

4月14日森友・加計疑惑の真相究明、内閣総辞職を求める行動が全国20か所以上で行われ、国会前には5万人を超える市民が参加しました。

安倍政権のもとでの一連の疑惑は、底なし沼の状態での日本の統治機構・民主主義は危機に瀕しています。裁量労働制の資料のねつ造問題(厚労省)、森友疑惑で公文書改ざん(財務省)に続き、国有地の8億円の値引きの根拠が崩壊、加計疑惑では柳瀬元首相秘書官が「本件は首相案件」といった文章が出てくる、イラク・南スーダンの自衛隊「日報」の隠ぺい問題(防衛省)です。

公文書を改ざんしたり、情報を隠蔽したり、と官僚に対する国民の信頼が揺らいでいますが、これは安倍政権の責任であり、真相解明ができないなら即退陣すべきです。

違憲の「戦争法(安保法)」が強行採決により成立したのは2015年9月19日です。もう2年半がたとうとしています。

その状況の下で、昨年5月の憲法記念日に、安倍総理大臣は、「9条1項・2項を維持した上で、自衛隊を憲法に明記する案」を打ち出してきました。そして、2020年には施行するなどとも言っていました。

憲法を変えることは安倍総理の悲願であること



は周知の事実です。ただ、日程は意外とタイトです。来年、天皇の退位が予定され



ていることもあって、今年中に国会で「改正案」が発議される可能性が濃厚になっています。

自民党憲法改正推進本部は、選挙制度・合区解消についての素案を2月16日に、教育環境整備の素案を2月28日に確定し、3月7日には、緊急事態条項・議員の任期についての素案を「本部長一任」としました。「本命」の9条の改憲については、森友問題等で「突風」ともいふべき逆風にさらされているにもかかわらず、3月の自民党の党大会では「有力案」を前提に、細田本部長への一任を取り付けました。年内発議に向けて着々と準備が進んでいると言えます。

安倍首相は、昨年5月3日には憲法9条に3項を書き加えるという、いわゆる3項加憲論を提唱しました。即ち、「9条1項、2項はそのままにして、

3項に自衛隊を明記するだけで何も変わらない。」といいます。安倍首相は「自衛隊のみなさんは災害現場で活躍し、その活動は国民の大きな支持を得ています。その自衛隊を憲法に「明記」することは当然のこと」と言っています。本当でしょうか？何も変わらないことはありません。真っ赤な嘘です。

まず、9条加憲によって、現在の自衛隊

の任務権限が正当化されます。2015年に戦争法で導入された「存立危機事態」における集団的自衛権が憲法的に認知を受けることとなります。また、9条加憲は、限定的な集団的自衛権の行使のみならず、フルスペック(現時点で備えるすべての機能を備えていること)の集団的自衛権の行使を容認するものとなることを危惧されます。更に、9条加憲によって、日本の社会全体が「軍事の論理」が優先する社会へと転換して、国民の生活や人権にも重大な悪影響を及ぼすことは避けがたいと思われまます。そして、軍事的価値が憲法上優先されれば徴兵制も合憲とされる余地もあります。安倍首相に騙されてはいけません。

以上の点は、みんなでもっと勉強していく必要があります。

今、私たちのなすべきことは、何でしょう？ 私たちはどんな国を目指すのでしょうか？

自由にものが言える国、弱い立場の人も安心できる国か、多様性を認めあえる国か、9条を活かし、戦争できない国か。国家を第一ではなく、一人ひとりを大切にする国か？

この国をどんな国にしたいのか、私たちが決めることです。私たちが覚悟を決めて、自立した市民として、それぞれが主体的に行動することです。慌てず、焦らず、諦めず、一步一步進んで行きましょう。

3時間の「ロングラン宣伝」 3000万署名「小倉地区の会」

3000万人署名に取り組む「小倉地区の会」は、3月17日、小倉駅で「ロングラン宣伝」を行いました。好天气に恵まれ、3時間、3交代(運動員は、延べ72名参加)で158筆の憲法署名が集まりました。うたごえコーラス等を含め、署名のお願いスピーチをしながら、署名版を持ち、流れる人波に向かい、「署名してください！」と訴えます。若



い人の署名が目立ちました。中には、通行中の男性が、運動員に詰め寄り「自衛隊は憲法違反とあなたは思うか？」「日本の防衛はどうするのか？」などと質問を執拗に繰り返す人が出てきました。運動員は「平和こそ大切、憲法に自衛隊を書き込めば、アメリカの軍隊と一緒に戦地に自衛隊員が連れて行かれ、生命を失うことになる。」と反論し、最後は、あきらめて、論争をやめて、その男性は、署名場所から離れていきました。「小倉地区の会」は、今後、地域での署名の「ローラー作戦」を4月15日(日)と4月22日(日)、「ロングラン宣伝」を4月21日(土)に予定しています。

(3000万人署名推進「小倉地区の会」ニュース
2号 2018年3月19日から)

憲法随想 回天

このトンネルを出ると、いよいよ死への道、どんな気持ちで歩いていったのだろうか・・・、この暗くて長いトンネルは、回天製造基地から、出撃する栈橋へと続く道。山口県周南市の大津島の人間

魚雷・回天の記念館を訪ねてのツアーだ。徳山港から30分の船旅で、大津島に着く。旧回天基地は、海に面し、この島の中心部にあり、現在では小中学校と島のセンターが立つ。しかし、島の

住民には出会わない、シーンとしたさびしい風景。旧基地の周りの坂道を歩いて、島の高台にある「回天記念館」に着く▼白い瀟洒な1階建ての記念館の前には人間魚雷・回天の実物大の模型が置いてある。黒く塗装され、直径1メートル。先端部に弾薬、中央部に操縦する兵士が一人座ることになっている。小さな潜望鏡で前を見ながら、敵艦に衝突し爆裂する仕組み。呉の海軍廠倉庫にあった、酸素式魚雷を改修して、人間が操ることにしたと言う説明。全国から、人間魚雷に乗ることを希望した 1300 名の若者がこの基地に来た。そして 145 名が戦没した▼記念館の戦没者の残した手紙のひとつを読む。「父母上様の幸福の条件から、私の名前を除いてください」とある。父母への思いを断ち切る決意なのだろうか。負ける戦争と分かっている、死ぬことを選ぶしか出来ない若者たち！時の権力者への怒り



等は微塵にない。国の教育・宣伝での成果なのだろうか？今、安倍政権が考えている、教育は、このおぞましい戦前の方に向いているのではないか。船の中から、寒々しい大津島を見ながら思った。(野瀬秀洋)

地域署名ローラー作戦（4月15日） で、154 筆の署名が集まる！

安倍改憲NO！3000万人署名推進小倉地区の会は、4月15日、第一次地域署名ローラー作戦を取り組みました。参加者は 39名で、692戸



を訪問し、109戸から154筆の署名を集約しました。訪問の半分以上が留守でした。3割近い方からは、署名をして頂けませんでした。

小倉の会では今後の反省点などを、事務局と地域の方との会合を4月19日開き、意見交換して 22 日の次回署名行動に反映させたいと考えています。

なお、小倉の会のこれからの計画は、

- 4月21日(土)第2次「ロングラン宣伝・署名行動」(小倉駅デッキ 11時～14時)
- 4月22日(日)10時から、第2次「地域ローラー署名行動」となっています。

あんなことコンナコト

自衛隊の宣伝の場に…スポーツは平和でこそ

3月の初旬、久しぶりのマラソンレースに参加。マラソンと言っても「フル」ではなく「10k」のレースである。今の体調では、これくらいが丁度いいと思う。なんせ体重が維持できない。どんどん増えているのである。

原因は解っているが。1月2月は寒かった。3月になってこれからである。大会は、ひなまつり日田豆田市民マラソン。豆田観光地区を走るのだから人気がある。前日、友人と車で出発。車中泊用の車と道具を積んでいる。日

田発祥の焼きそばを食べて、コンビニの駐車場で宿泊。トイレ完備、飲食OK。最近の大会では、こんなスタイルが大変多い。それも、年長者である。大会当日、5時起床。コンビニ朝食後、会場へ。9時、重い体をひっさげて後尾からスタート。アップダウンのコースにてこずって平凡な記録。

ここからが、気に入らない。自衛隊による「豚汁」の接待。気に入らないが「食ってし



まった」。最近、この種の接待が多くので大会で。接待だけならいい(?)が、「必ず」自衛隊の案内コーナーがあり、若い男女の隊員が、パンフを配りコーナーに案内し、自衛隊への勧誘をするのである。

北九州マラソンでも1万食の豚汁を小倉駐屯地の隊員が接待する。そして、災害復興のパネルを大規模に展示してアピール。いま9条改憲へ。災害復興・国民を守る自衛隊をアピールし9条を骨向きにする策動が「日本会議」・安倍政権で大規模に展開されている。平和でこそスポーツは発展する。スポーツの行事に、あえて自衛隊をアピールすることに違和感を覚える。いま、自衛隊は文民統制の危機が深刻である。国民が知らない間に、アメリカ軍とまったく一体の体制になっている。実態が見えない中、国民の中に。事務局・川副通夫(折尾9条の会ニュース2018年4月号No.152から)

「九条の会」メルマガ詳細版

2018年03月25日 第275号

編集後記～自民党大会と改憲案のこと

22日、自民党憲法改正推進本部は安倍改憲案の推進と、従来有力意見のひとつだった「必要最小限度」を案から削除する方向で細田本部長に一任した。このメルマガが発行される25日が大会だが、大方この方向ですすむと考えられる。4項改憲案だが本丸は第9条だ。あとの3つは本来改憲マターではない。ただ、緊急事態条項に従来の国会議員の任期延長だけでなく、私権の制限と内閣の権限の強化というナチスの授権法を想起させる案を入れたのは危険極まりない。自民党の改憲案を徹底的に暴露し、安倍9条改憲NOの3000万署名をいまこそおしすすめ、改憲発議を阻止しよう。(T)

カンパありがとうございます。そして、お願い!

当会は、一貫して、憲法及び9条を学び、守り発展させるため、学習会や講演会、署名活動、街頭宣伝などの諸活動を行ってきました。ニュースの発行は、90号になりました。毎回700人の方にニュースをお送りしたり、手渡ししたりしています。その費用は、当会は会費がないのですべてカンパで賄っています。安倍政権の憲法破壊、立憲主義無視の暴走を阻止する戦いは山場です。しかし、当会の活動資金が枯渇しています。皆さんのお力で当会の活動を支えてください。

振替番号：01700-8-115768 名義：「九条の会・北九州憲法ネット」

カンパ 3月 河村智重子 内田つなお 森田禮三 小沢和秋 野瀬秀洋 小泉孝 中川紘子 横井和江 竹中労 末安良光 川原巖誠 山本和也 田口政子 田島勝彦 井上文子 三輪俊和 三輪幸子 近藤伊都子 4月 新地美智子 山下光子 吉田素子 メッセージ ●カンパ 3/7 R. M ●前回、ありがとうございます。3/15 T. K ●少額ですがカンパです 3/20 M. T

